飯岡地区ワークショップを開催しました!!

平素より町行政及び美作岡山道路の建設推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。 本号では、美作岡山道路の柵原ICを活かした飯岡地区の発展に向けて、町及び地元自治会の主催で11 月16日に開催した第3回飯岡地区ワークショップの内容について、ご紹介します。

ワークショップの内容

ワークショップでは、5グループに分かれ、以下のテーマで、「地域で今までやってきたこと」「こ れからの飯岡地区に必要なこと」「まずできそう、自分にもできる、明日からできること」について、 話し合いを行い、内容をグループごとに発表しました。

テーマ

美岡だより

買い物・移動

防災

地域運営の仕組みづくり

空き家・耕作放棄地

交流・居場所



主な発表内容

1 グループ「交流・居場所」

- ・交流場所を備えたシェアハウス(一人暮らしの方のケア)をつくり、地区の中で安心して暮らせ るようにしたい。
- ・柵原ICから高速バスに乗れるようになれば、移動が便利になる。
- ・柵原ICの付近に「買い物ができる」「地区の人が働く場所にもなる」交流拠点をつくり、その場 所が維持できるような体制をつくる必要がある。

2 グループ「地域運営の仕組みづくり」「空き家・耕作放棄地」

- ・交流人口を増やしたいので、早期の美作岡山道路の整備が必要。
- ・耕作放棄地について、引き続き草刈りを行い、今後、景観作物づくり、耕運機や草刈り機の講習、 草刈りや耕作放棄地を耕すボランティアへの軽食提供が必要。

3 グループ「地域運営の什組みづくり」

・体制づくりが必要。また、地域でつくった計画を町へ提案する際の専任の事務サポート担当を町 に置いてもらいたい。

4 グループ「空き家・耕作放棄地」

・空き家の見回り、危険空き家の情報交換、空き家情報を町へ連絡、地域の窓口をつくり、情報を マッチングすることが必要。

5グループ「買い物・移動」「防災」「空き家・耕作放棄地」

- ・防災について、安全な避難場所や避難方法、声掛けの方法などシミュレーションが必要。
- ・この地区は高齢者の一人暮らしが多い。美作岡山道路ができても住み慣れたところを離れたくな い方がまとまって住めるような高齢者住宅が必要。

今回のワークショップでは、飯岡地区の将来について、IC付近への買い物、雇用、交流の拠点の整備など、 美作岡山道路の柵原ICを活かした具体的な多くのアイデアが出されました。

美作岡山道路の柵原ICが整備されると、岡山・津山方面等への通勤通学の負担軽減による定住促進や、救急車による救急搬送時間の短縮、大規模災害時の緊急輸送の確保による速やかな救助・応急対応などの効果が期待されます。

町としても、美作岡山道路の早期完成、飯岡地区の発展に向けて、美作岡山道路に関連した周辺整備に取り組んでいきます。

次回のワークショップでは、アイデアの実現に向けて更に具体的な議論をしていきますので、是非ご参加いただき、一緒に飯岡地区の将来を考えていきましょう。

12月2日に開会した美咲町議会12月定例会の冒頭挨拶の中で、美作岡山道路の整備推進について、美咲町長が決意表明いたしましたので、ご紹介します。

美咲町長の冒頭挨拶(抜粋)

先月16日に、飯岡地区においてワークショップを開催したところ、インターチェンジの近くに防災・交流・特産品販売の拠点を整備し、新たな産業の創出や高速バス路線を誘致するなど、地域の将来について、建設的なアイデアをいただきました。町としては、美作岡山道路の早期完成、飯岡地区の発展に向けて役割を果たすべく、決意を新たにしたところです。

美作岡山道路は飯岡地区、柵原地域だけでなく美咲町にとって、医療、防災、交通安全、定住促進、企業誘致、物流、観光などの多方面において大変重要な道路です。インターチェンジの設置も含めて、町は県が進める美作岡山道路の整備に全面的に協力してまいります。

県からは、今月から道路設計の地元協議に入ると聞いており、今月20日には県とともに地元説明会を開催する予定です。

地域の環境が大きく変わることに不安をお持ちの方もおられると思いますが、不安を取り除けるよう、町として誠心誠意取り組んでまいりますので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

美作岡山道路(飯岡地区)に係る住民説明会のご案内

岡山県では、平成30年3月から測量に着手し、今年度から道路設計を進めているところです。 この度、設計について、皆様方と話し合いを行うため、第8回目の住民説明会(地元設計協議)を次の とおり開催いたします。

日時:令和元年12月20日(金) 19時~20時

場所:飯岡老人憩いの家